

まなびあい

〈学校の教育目標〉

ルールをまもる子
チームワークをつくる子
ベストをつくす子

在籍児童数 562名

安心して



「安心して感染したい。」

今年8月24日付のある新聞コラムの書き出しでした。どうということかと驚き、読み進めてみると、ある5コマ漫画に付された題とのこと。この漫画には新型コロナウイルスの感染者がひとりも出ていない町に暮らす住民の不安が描かれており、そして、作者自身が「噂するのも村八分にするの後ろ指さすの陰口を叩くのもウイルスじゃない。『ひと』なんだよなあ」とつぶやく。感染者が確認されると、ウイルスではなく感染者と家族ばかりをなじる言動が各地で今なお絶えない。大切なのは陽性者が出たあとの対応であり、闘う相手はウイルスだけで済む世の中でありたい、という内容でした。心無い誹謗中傷に苦しめられている人々がいることの報道も後を絶ちません。残念でなりません。

11月は、「いじめ撲滅強調月間」です。個人面談期間にご覧になられた保護者の方もいらっしゃると思いますが、「三芳小学校いじめ0（ゼロ）運動」として、全校児童が「わたしたちの行動宣言」をそれぞれの思いで掲げています。

- ・人をきずつけません。・みんなにやさしくする。
- ・ともだちになろうってこえをかけてあげる。
- ・人をたたいたりけったりしない。
- ・なかよくするためにはあいさつする。
- ・一人ぼっちの子を見つけたらいっしょにいます。りゆうは、もしかするとさみしいのかもしれないから、いっしょにあそびます。
- ・お友だちがくるしそうな顔をしていたら「どうしたの」と声をかけます。
- ・私は、友だちのいいところをさがします。友だちにはいいところはぜったいあると思います。
- ・ぼくはゲームで悪口を言わないようにします。
- ・相手の立場になってこれを送っていいのかをちゃ



んと考えてから送る。

ごく一部の紹介しかできませんが、どれも子供が自分で考えたもので、すばらしい行動宣言です。思っているもなかなか行動にうつすことができないときもあるかもしれません。しかし、この強い意志があれば必ず実行していけるでしょう。

また、本校では「望ましい人間関係を形成し、互いのよさを生かして合意形成を図ろうとする児童の育成」をテーマに特別活動の研究を進めています。特に、「折り合いをつける」、すなわちお互いに妥協し合って（＝譲り合って）、お互いが納得できる妥協点を見つけていくことを大事にしています。集団生活においては意見や価値観の違う者同士がどのようにしたら皆で協力し合ってよりよい生活を営んでいくかがとても大切です。このような方法を学ぶことで、友達同士の小さなトラブルもいじめに発展しないように解決していける力がつくと思っています。話合い活動を通して、子供たちが自分たちでいじめやけんかを減らしたり、例えトラブルになったとしても自分たちで解決していけるようになってほしいと思います。そのために、私たち学校と家庭が一体となって子供たちを導いていけたらと強く思っています。学校が安心して通える、安心して生活できる場になるよう今後も一層努めてまいります。よろしく願いいたします。（校長 河野公子）



登下校、放課後の交通安全の徹底

10月もおかげさまで大きな事故もなく過ごすことができました。しかしながら、下校時に走ったり、道路に飛び出したり、また放課後には車が近づいても路上で遊んだりしている児童がいるなどのご指摘もいただいております。「いのち」は一つしかありません。学校でも根気強く指導しておりますが、ご家庭でもお話いただきますようお願いいたします。また、ご都合のつく方は、下校時間に時折見守りをしていただけたら幸いです。

